



大森六中だより

令和3年 9月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

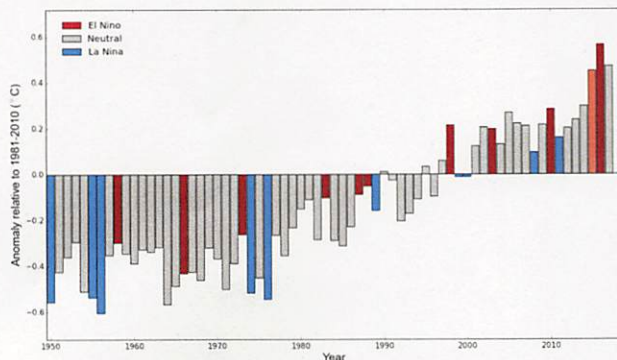
3.5%の法則



42日間の夏休みを終えて、9月1日に予定通り始業式を行い、学校を再開しました。夏休みの間、事件事故もなく生徒は1学期と変わらない元気な姿を見せてくれています。

ところで、8月は例年になく雨の多い夏となりました。開催が危ぶまれたオリンピックが無事に閉会式を終えた後から長雨が続きました。その影響は、夏の風物詩である甲子園の高校野球の日程を順延にしたり、最悪のグランドコンディションでプレーせざるを得ない状況を生んだり、また季節野菜の価格が例年の倍以上したりするなど、様々なところで表れていました。開校記念講演会でご講演いただいた国立環境研究所の江守正多博士の気候変動のお話が身に迫ります。

下の図は世界気象機関が2017年に発表した世界の平均気温の変化を表したグラフです。横軸は左から右に時代が進んでいます。縦軸は気温で、右肩上がりで気



温が上昇していることが分かります。その原因は、人間活動で生じるCO₂が地球の温室効果を高め、地球から宇宙に放出する赤外線のを減少させているからです。

8月25日に生徒会がベトナムの中学生とオンラインで交流した時に、ベトナムの気候変動の影響を尋ねると、ベトナムの中部では砂漠化が進み農作物に影響が出ていると伺いました。

このまま温暖化が進めば、その影響を受けない人は全人口の5%に過ぎないともいわれています。温暖化を止めるための具体的な政策は難しい現状があります。しかし、3.5%の人が行動を起こすことで地球を救えるという話もあります。地球の未来を変えるのは、誰かではなく、自分です。

先生たちで今年度の体罰撲滅宣言を決めました。

キレイキレイ活動

心も校舎もピッカピカ

夏休みに入った7月29日(木)、毎年行われている、生徒会の運営によるキレイキレイ活動が実施されました。とても暑い日でしたが、たくさんの生徒、及び保護者の皆様にご参加頂き、普段の清掃では手の行き届かない廊下や教室の壁、ドアのレール、特別教室の清掃やワックスがけを行うことができました。みんな汗びっしょりになりながら、熱心に取り組みました。おかげで気持ちよく2学期を迎えることができました。



細かな汚れをぞうきんを使って丁寧に落としていきました。窓を外しての掃除は何年ぶりになるでしょう！？



参加してくれたみんなで最後に記念撮影です。

後期生徒会役員選挙

9月10日(金)、後期生徒会役員選挙が行われました。3年生から1・2年生にバトンが受け継がれるこの選挙には、12人の生徒が立候補しました。そしてリモートでの立候補者演説では六中をより良くするために自分に何ができるのか、何をしたいのかを熱く語ってくれました。9月27日の専門委員会で、前期と後期の生徒会が交代することになります。新しく生徒会役員になったみなさんの活躍に期待しています。また、全校生徒の皆さんも、生徒会会員としての自覚をもち、主体的に活動に関わっていきましょう。



前期生徒会長
1年間お疲れ様。



後期生徒会長
これからの六中をよろしく。



選挙管理委員長
ミスの許されない大切な仕事です。

ASPnet アクションリサーチ

ベトナム Tay Son School とのオンライン交流

8月25日(水)に UNESCO Associated Schools Project Network (ASPnet) により、アジア太平洋におけるSDGs 達成のための学校の役割に関する協働型アクションリサーチが行われました。ともにユネスコスクールである大森六中と Tay Son School の生徒代表と先生方が、自国の文化や SDGs 達成のための学校の取組や課題などについて発表し、ディスカッションを行いました。六中生徒会からは Goal 1 に対して「ユニクロ服のチカラプロジェクト」、Goal 7 に対して「ゴーヤグリーンカーテン」、Goal 13 に対して「農援隊のホタル復活プロジェクトや洗足池清掃活動」、Goal 16 に対して「平和の歌とかるたの作成」、コロナ禍に対して「シトラスリボンプロジェクト」などの活動を紹介しました。Tay Son School からはペットボトルの回収、自然保護団体の方々と毎日曜日に行う湖の清掃、企業の協力の下で行う環境に優しい電池づくりなどの活動が紹介されました。その他、ベトナムの人気のスポーツがサッカーであること、放課後の活動としてコミュニケーションクラブや数学クラブなどがあること、フォーをよく食べること、お正月はごちそうを家族で食べて初詣をすることなども教えてもらいました。英語の授業は週3時間だそうですが、みんな流暢にかつ積極的に英語を使い、学習意欲やコミュニケーション能力の高さにも驚かされました。お互いに大変実のある交流になりました。



SDGs への取り組み



ほたる復活プロジェクト



シトラスリボン

ブラジルオリンピック選手団とのオンライン交流

大田区は、東京 2020 大会に出場するホストタウンとして区民と選手との交流などを通じ、国際理解の推進を目指しました。その一環として、六中では、7月19日(月)放課後、生徒会役員がブラジルオリンピック選手団とのオンライン交流を行いました。出会った日本人が明るく親切であること、実際にみんなに会えなくて残念だが全力で競技に臨むのでぜひ応援してほしいこと、コロナが終息したら再来日して本場の日本食を食べたいことなどをお話してくださいました。一昨年ハンドボールチームが来校しスポーツ交流した際頂いたサイン入りユニホームやマスコットキャラクターのジンガを見て大喜びされていました。



ブラジル選手団からの挨拶



バスケットボール選手との交流



生徒会役員からの質問

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

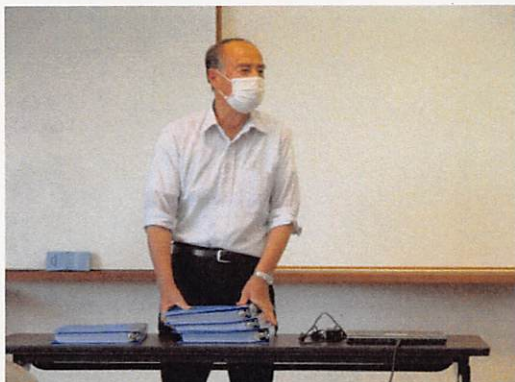
夏休みの活動より

新型コロナ感染防止から、夏休みの活動が縮小、または、中止せざるを得ない中、いくつかの活動を紹介します。

洗足池自然講習会

8月2日、洗足池のポートハウス2階会議室にて、自然科学部による環境調査の発表を洗足風致協会の事務長守谷さんや、保護者の方に聞いてもらう機会がありました。日頃から、ホテル自生に向けて自然環境の保全に向けて、調査活動や保全活動を行っており、その成果を発表しました。水質を浄化し、二酸化炭素濃度を押さえるための光合成実験の成果、在来種と外来種の生態調査などを発表することで、この自然豊かな環境をさらに守っていききたいと、伝えることができました。

その後、風致協会の守屋さんから洗足池の歴史についてお話があり、長年かかって撮影した洗足池の植物、動物、鳥、昆虫の写真集を六中に寄贈していただきました。その内容は専門性も高く、洗足池の自然そのものを表した貴重な資料となっています。六中1階の廊下に展示してあります。生徒はもとより地域の方に見ていただきたいと思います。



科学研究費助成事業 シビック・アクション促進に向けた環境教育プログラム開発

今年度より国立環境研究所を中心としたプログラム開発に本校も協力することになりました。8月23日の協議会では、3年生が日頃学習している「気候変動に向けて考えた対策」について発表する機会をいただきました。生徒は温室効果ガ



スを排出させないための工夫を節電や節約、さらに、3Rだけではなく5R (Remake Reuse Recycle Reduce Repair) が必要である。さらに、エネルギーの問題に触れ、再生エネルギーの推進、企業の工夫と行政のさらなる呼びかけに力を入れてほしいと、訴えました。自分たちの考えを社会に向けて発信する機会を得て、とても達成感を感じていました。また、環境問題への意識について質問され、「自分のできることをできることから行っている。」と、しっかり答えていました。

この事業は、現在SDGsでも取り上げられている温室効果ガスによる温暖化防止に向けた対策を、世界全体で考え、行動を起こすための教育プログラムを開発しようというものです。本校が推進しているESDが大切にしている課題解決能力の育成と、問題解決するための実行力の育成とに合致するもので、あらゆる学校の教育プログラムにどう組み入れていくかを検討していくものです。環境挙育プログラムの開発に今後2年間協力していきます。

六中生が世界の課題を解決するパイオニアとして、活躍してもらいたいと考えています。

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



17 パートナーシップで
目標を達成しよう

